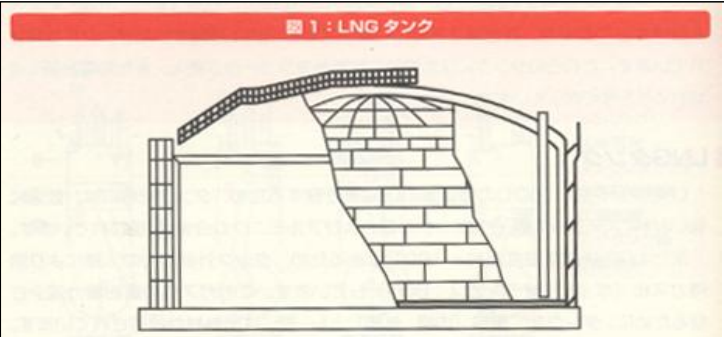
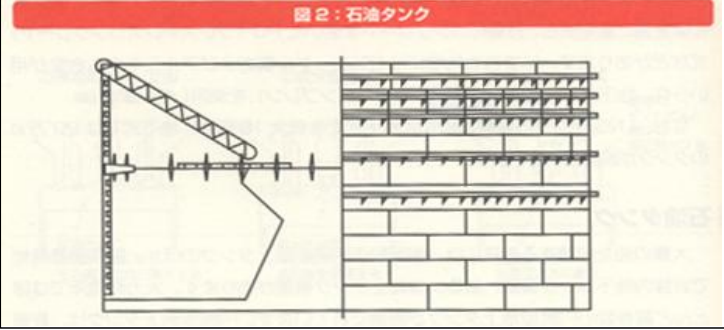
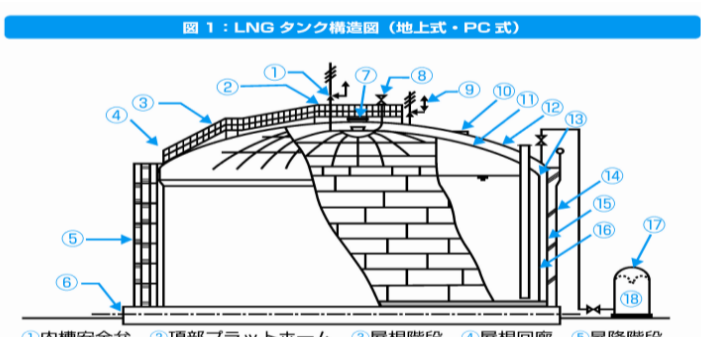
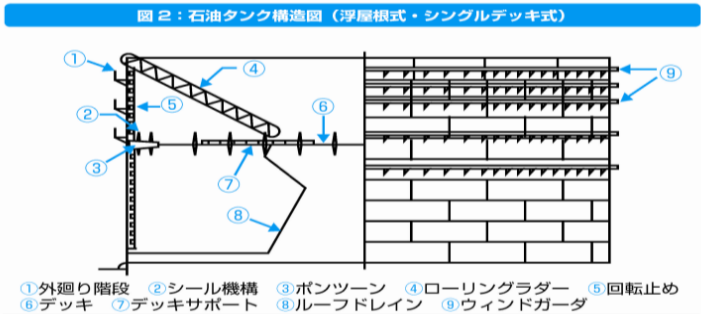


頁	セクション	箇所	誤	正
15	1-3 火力発電 の歴史	図1	50Hz地区 69Hz地区 50Hz・60Hz混在地区	50Hz地区 60Hz地区 50Hz・60Hz混在地区
80	4-11 燃料タンク	図1 図2	<p>図1: LNGタンク</p>  <p>図2: 石油タンク</p> 	<p>図1: LNGタンク構造図(地上式・PC式)</p>  <p>①内槽安全弁 ②頂部プラットホーム ③屋根階段 ④屋根回廊 ⑤昇降階段 ⑥底部加熱装置 ⑦内外槽屋根マンホール ⑧内槽屋根ノズル ⑨外槽安全弁 ⑩バーライト充填用マンホール ⑪内槽屋根 ⑫外槽屋根 ⑬ナックルプレート ⑭PC防液堤 ⑮鋼製ライナ ⑯内槽胴板 ⑰ブリージングタンク ⑱窒素ガス</p> <p>図2: 石油タンク構造図(浮屋根式・シングルデッキ式)</p>  <p>①外廻り階段 ②シール機構 ③ボンツーン ④ローリングラダー ⑤回転止め ⑥デッキ ⑦デッキサポート ⑧ルーフドレイン ⑨ウィンドガード</p>
86	4-14 非常用電源設備	リード文	2001年3月の福島第1原子力発電所の事故……	2011年3月の福島第1原子力発電所の事故……
124	6-4 ガスタービン の保守管理	本文	<p>ディーゼルエンジン自体は、電気事業法によって規定される定期点検の対象ではありませんが、電気工作物として点検の対象となるので、①日常点検、②定期点検(保安規定に基づくもの)、③定期点検(法律に基づく自主点検)、④安全管理審査が必要となります。 ディーゼルエンジンのメンテナンスに関する事項は、上記のように法律による規定がありませんので、メーカーとの協議によって決定しますが、</p> <p>日常点検は、機器の状態を目視点検するものと、計器記録を集積で行うものがあります。正常な状態を認識しておかなければ、異常も発見できませんので、おろそかにすることはできません。最近では、オンラインでメーカーと計器記録を共有し、早期の異常の発見を行う例もあります。</p>	<p>ガスタービンの保守管理は、他の原動機と同じく、①日常運転管理、②定期点検(自主点検)、③定期点検(法定自主点検)、④定期点検(安全管理審査)があります。法定定期点検は、電気事業法、大気汚染防止法、労働安全衛生法、消防法関連で点検、定期的な報告が必要となっています。</p> <p>日常点検は、機器の状態を目視点検するものと、計器記録を集積で行うものがあります。正常な状態を認識しておかなければ、異常も発見できませんので、おろそかにすることはできません。最近では、オンラインでメーカーと計器記録を共有し、早期の異常の発見を行う例もあります。</p>

図解入門よくわかる 最新火力発電の基本と仕組み 正誤表

136	7-2 電力需要 変化に対 応する効 率運用	本文	<p>需要変化に対応する効率運用(WES)</p> <p>(1)冷機起動 定期検査停止等の長期停止後に起動する場合</p> <p>(2)週末検査停止起動(WeekEnd Stop and Start) 運用上、週末は電力需要が少ないことから、ユニットを週末に停止し、週明けの電力需要増加に対応するため起動する場合で、停止時間は約12～36時間程度です。 なお、昼夜間の電力需要格差に対応するため、深夜停止し、翌朝起動する場合で停止時間は約6～8時間程度です。</p> <p>以上のように、最近の火力運用は高効率ユニットの高稼働、中容量火力の深夜停止、大容量火力の週末停止など、きめ細かく実施し、総合的な効率向上をはかっています。</p>	<p>需要変化に対応する効率運用(WES、DSS)</p> <p>(1)冷機起動 定期検査停止等の長期停止後に起動する場合</p> <p>(2)週末検査停止起動(WeekEnd Stop and Start) 運用上、週末は電力需要が少ないことから、ユニットを週末に停止し、週明けの電力需要増加に対応するため起動する場合で、停止時間は約12～36時間程度です。</p> <p>(3)深夜停止起動(DSS: Daily Start and Stop) 昼夜間の電力需要格差に対応するため、深夜停止し、翌朝起動する場合で停止時間は約6～8時間程度です。</p> <p>以上のように、最近の火力運用は高効率ユニットの高稼働、中容量火力の深夜停止、大容量火力の週末停止など、きめ細かく実施し、総合的な効率向上をはかっています。</p>
152	8-6 地震対策	本文	⑤耐震設計法の設定。地域別の補正を考慮(図1参照)	⑤耐震設計法の設定。地域別の補正を考慮(図2参照)
195	11-2 日本の火 力発電所	図2	図2:石炭火力発電所	図3:ガス火力発電所

<本書サポートサイト>

<http://www.shuwasystem.co.jp/support/7980html/3062.html>

<秀和システム>

<http://www.shuwasystem.co.jp/>